かけはし

昭島市立富士見丘小学校　令和 8年 11 月19日
校長だより 生活のきまりアンケート　稲 垣 達 也



みんなで考えたい 小学校の「生活のきまり」

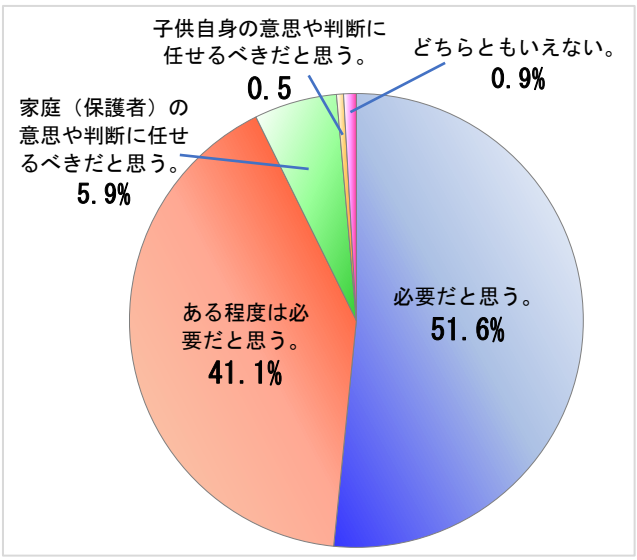
～ アンケート結果の速報値 ～

実施：令和８年１１月１日～１５日　　回答数：１９８件（家庭数３６５件、回答率５４．２%）

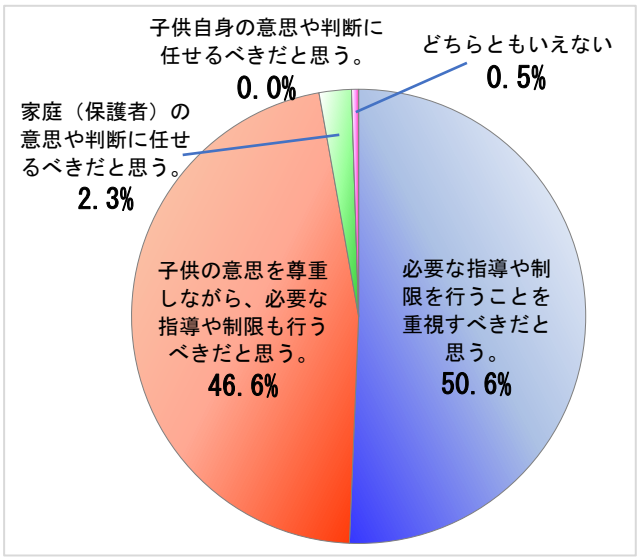
学校便り 11 月号で取り上げた“ みんなで考えたい！小学校の『生活のきまり』 ”に関するアンケートに、多くの皆様から御回答をいただき、誠にありがとうございました。このたび、アンケート結果の速報値をまとめましたので、お知らせいたします。

今後は、いただいた貴重な御意見を大切にしながら、学校運営協議会や地域の皆様からも広く御意見を伺い、子供たちにとってよりよい「生活のきまり」の在り方について、さらに検討を深めてまいります。

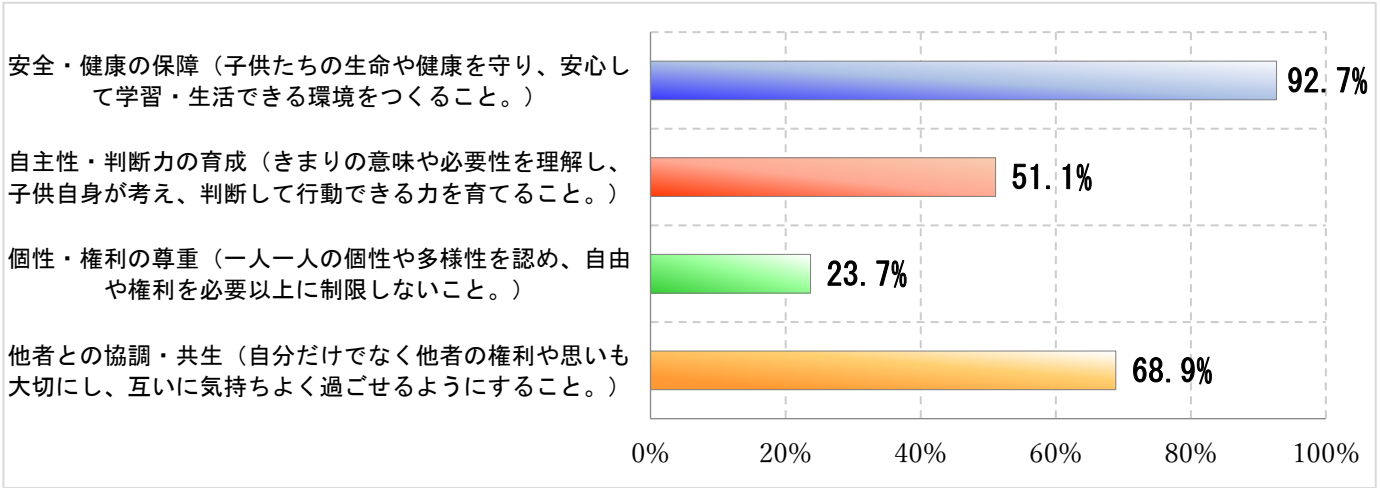
Ｑ１　小学校における頭髪や服装などの「生活のきまり」の必要性について、どのように考えますか。



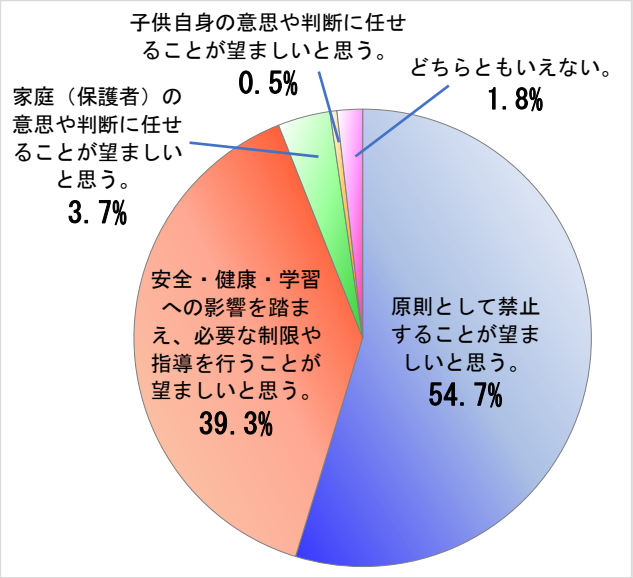
Ｑ２　子供の自由や個性の尊重と、大人による指導や制限の関係について、どのようにお考えですか。



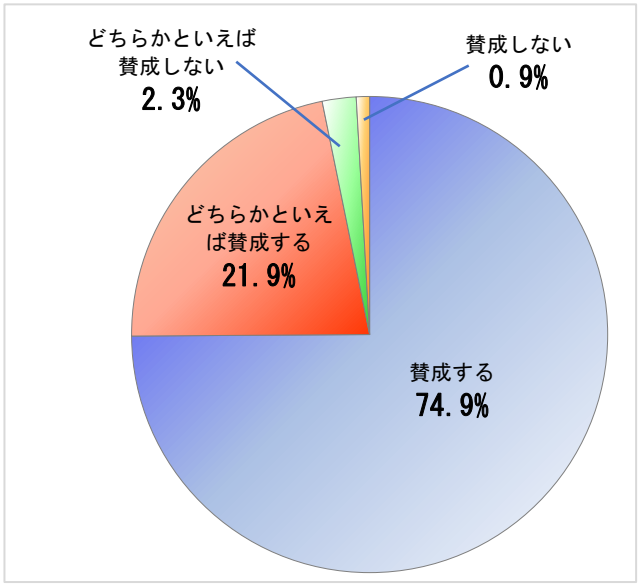
Ｑ３　小学校の「生活のきまり」を考える上で、特に大切だと思うことは何ですか。 複数回答



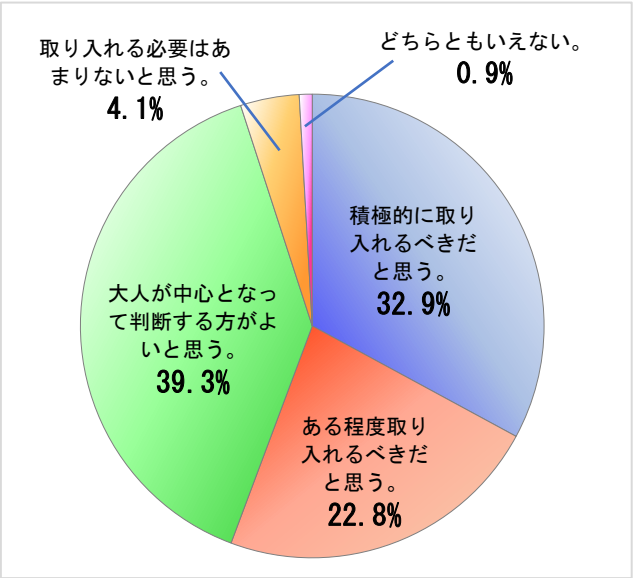
Ｑ４　染髪・パーマ・ピアス・ネイルなどについて、学校はどのように対応することが望ましいと思いますか。



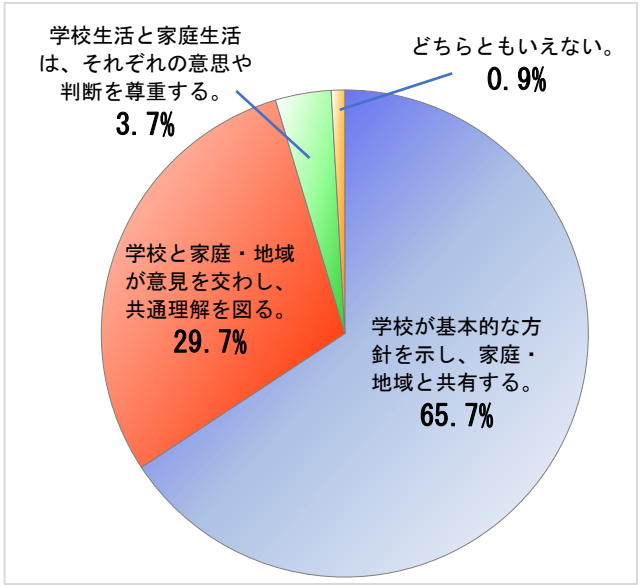
Ｑ５　学校便りで示した、必要性に応じて「禁止・制限」「お願い」「推奨」の３段階に分ける考え方について、どう思いますか。



Ｑ６　生活のきまりを考えたり、見直したりする際に、子供たち自身が話し合い、意見を表明する機会を設けることについて、どう思いますか。



Ｑ７　（生活のきまりを検討する際）学校と家庭・地域の連携について、どのような関わり方が望ましいと思いますか。



今回のアンケートでは、問８「頭髪・服装・身だしなみについて」92 件、問９「自由や権利を大切にした、よりよい学校生活について」77 件、合わせて 169 件の自由記述をいただきました。多くの皆様から、具体的なご意見やご提案をいただき、心より感謝申し上げます。多様な御意見と、かなりの長文もあり、皆様の関心の高さを感じるとともに、学校の責任の大きさを重く受け止めております。

Ｑ８　頭髪・服装・身だしなみなどについて、気になることや、学校に配慮してほしいことがあれば、自由にお書きください。

染髪・ピアス・ネイルなどについて、一定の制限や明確な基準を求める意見が多く寄せられました。「個人的に小学生の染髪、ピアス等は不要と考えます。」「学年、クラスによる指導の差を無くすこと」といった声に加え、きまりを守る家庭との公平性や、周囲の子供への影響を心配する声もありました。学校として、何をどのような理由で制限するのかを分かりやすく示すことが求められています。

安全・健康面では、「衛生管理や怪我の原因となる事項については、厳しく指導をお願いしたいと思います。」との意見がありました。また、「服や髪の色よりも、爪切りや、入浴の必要性について大切さを

教えていったら良いと思う。」という声もあり、外見そのものより、清潔さや活動時の安全を重視する視点が示されました。家庭の責任や保護者の判断の在り方を問い直す、率直で厳しい御意見も寄せられています。

一方で、「頭髪、服装、身だしなみは安全や衛生的なこと以外では、学校が何か言う必要があるのか疑問です。」との意見や、「過度なルッキズムにならぬようにすることに賛成です。」という声もありました。生まれつきの髪の色や髪質、文化的背景、本人の悩みなどへの配慮も欠かせません。

さらに、防寒に適した帽子や上着の扱いを見直してほしいという具体的な提案もありました。外見を一律に評価するのではなく、必要な指導の根拠と個々の事情の両方を丁寧に考えることが重要です。

Ｑ９　子供たちの自由や権利を大切にしながら、よりよい学校生活をつくるために、ご意見やご提案があればお聞かせください。

自由や権利を尊重する一方で、他者の権利や集団生活のルール、自由に伴う責任を教えてほしいという意見が多く寄せられました。「学校は一人だけの場所ではありません。すべての子供が安心して学べることを第一に考えてほしいです。」との声は、個人の自由と、みんなの安心を両立させる大切さを示しています。

また、「ちゃんと子供達に諭して自由と責任、権利と義務を正しく指導してください。」という、発達段階に応じた教育を求める意見もありました。

学校の方針については、「今回のアンケートをきっかけに、学校としての服装や頭髪に関する方針をしっかり整理してほしいものです。」との要望がありました。教員や学級によって指導が異ならないこと、家庭と学校が共通理解をもつことも重視されています。「今回のようにお知らせいただくことで、家庭で話し合うきっかけになります。」という声からは、学校が考え方を発信し、家庭と対話を重ねることへの期待もうかがえます。

他方、「ルールで縛り子供の個性を潰す必要は無いと思います。」との意見もあり、必要以上の制限には慎重であるべきだという考え方が示されました。「決まりだからという理由では、納得しにくいです。」という声や、子供が安心して意見を出せる環境を求める提案もあります。きまりを一方的に守らせるだけでなく、その目的や根拠を説明し、子供たちが自ら考え、話し合う機会をつくることが、主体性や判断力を育てることにつながると考えます。

【今後に向けて】

今回の自由記述には、厳格な制限を求める声も、個性や自由を守ってほしいという声もありました。しかし、その背景には、子供たちの健やかな成長と、誰もが安心して学べる学校生活を願う共通の思いが感じられます。意見の違いを対立として捉えるのではなく、何を守るためのきまりなのかを考える手掛かりにしたいと思います。

今後は、学校運営協議会や地域の皆様、そして子供たち自身の声にも耳を傾けながら、安全・健康、学習への影響、他者の権利、個別の事情などを一つ一つ確かめてまいります。学校としての方針や判断の理由を丁寧に示し、家庭との共通理解を深めることも大切にします。

大切なのは、単に「禁止するか、認めるか」という二者択一ではありません。子供の自由と権利を尊重しながら、安全・健康を守り、他者を思いやり、自ら考えて行動する力を育てることです。そのために、必要なきまりは明確にしつつ、合理的な理由のない制限や画一的な対応は避けるという姿勢を大切にします。

誰もが笑顔で過ごす「垣根のない学校」の実現に向けて、学校・家庭・地域がともに考え、子供たちも納得して守ることのできる、よりよい「生活のきまり」をつくっていきたいと考えております。

※ 以降のページに、いただいた自由記述を全文掲載しています。文言を省略等すると、その意図が正確に伝わらないこともあるため、原文のままとしました。参考にしていただければと存じます。

Ｑ８　頭髪・服装・身だしなみなどについて、気になることや、学校に配慮してほしいことがあれば、自由にお書きください。

論点	保護者の回答原文（無修正）
禁止・制限と明確な基準	個人的に小学生の染髪、ピアス等は不要と考えます。
	子供のヘアカラーや、肌を出すような服装は特に禁止すべきと思います。まだ自分の身を自分で守ることができないからです。
	染髪など中学校で禁止されている内容は、原則禁止で良いと思います。子供の意見も大切ですが、まだ幼く知識や考えが足りない部分も多いと思うからです。
	一年生から染めている（染めさせている）お子さんがいてビックリです。幼稚園から染めているのでしょうか？自由の尊重ではなく親の趣味なんです。厳しく禁止してほしい。
	癖毛が凄すぎてストレートにする、爪がどうしても割れてしまう等の生活に支障が出る場合、精神的な病気等でそうしなければならない場合を除いては禁止でいいと思います。 学校に必要ないものだからです。 仕事でも必要のないものを持ち込まない、職業によってはネイル等禁止されていると思うので学校では自由にしていいというのは違うかなと思います。
	小学生なのに髪を染めたりパーマ？の子を見かけるようになり正直驚いています。おしゃれは否定しませんが、子供にそこまで？　うちの子も影響を受けてることも心配です。学校には、もっとはっきりとした基準を示していただきたい。
	ちょっと前まで、髪を染めたり、ピアスをしたり、ネールしたり、そんなことは親が絶対に許さなかったはずです。子どもの自由や権利が強調されるあまり、反発を恐れているのか、大人が必要な注意をしていません。何でも認めることが子供のためになるとは思いません。学校には、注意すべきことをきちんと注意して欲しいです。もちろん親もです。
	一度、染髪を認めてしまうと、今は、ごく一部の子だけかもしれませんが、何も指導しなければ、それが当たり前になっていく心配があります。 問題が大きくなってから対応するのではなく今のうちに学校として基本的な考え方を示してほしいです。 子どもたちの将来のためにも必要な指導は大切だと思います。
	「個性を尊重する」という考え方は大切だと思います。しかし、それを理由に染髪やピアス、ネイルなどを何でも認めることには疑問があります。まずは年齢にふさわしい生活習慣や身だしなみを身に付けることが先ではないでしょうか。自由を認めることと、必要な指導をしないことは違うと思います。学校には毅然とした対応を期待します。
	個人の自由だと家庭で決めても、その影響はその家庭だけにとどまらないと思います。子供は友達の姿をよく見ています。自分も同じようにしたいと考えるのは自然なです。家庭によって考え方が違うからこそ、学校生活では一定の共通した基準が必要です。ごく一部の家庭の意見によって、学校全体のきまりが曖昧になることは避けてほしい。
	ダンスなどの習い事などを理由に染髪を認めると、次々に例外が増えてしまうのではないかと心配です。それぞれの家庭の事情があるかと思いますが、学校生活におけるきまりまで変える必要があるのでしょうか。生まれつきの髪色などの配慮は必要ですが、それ以外については原則を明確にしてほしいです。
	タトゥー（シールも含め）も禁止にしてほしいです。
	学校が必要だと思うルールについて、保護者から反発を怖れて曖昧にしてしまうことは避けてほしいです。ほとんどの保護者が学校の方針に協力しようとしていても、声の大きい意見だけが優先されるようでは困ります。学校の考え方をあいまいにしないで、もっとはっきりと示していただきたいです。
	学校でルールを設けるのであれば、きちんと守らせるべきだと思います。守れない、守らせられないルールであれば、設ける意味がありません。個性や一人ひとりの権利を尊重することと、ルールを守らないことは別問題です。自由や個性を尊重することを理由に、決められたルールが守られなくなるのは違うと思います。
	常識の範囲内で自由でいいとは思いますが、各家庭の常識のズレが大きくなっていたり、学校側が必要だと判断すれば決まりを作っていいと思います。
	中学に入ったらできないので今やりたい、と言ってますが、逆に、なぜ小学校では許されているのでしょうか？　まあ、学校が許しても、私は許しませんが。高校でも許されないし、ほとんどの会社でも許されないと思います。それが社会の常識です。ということを小学校では、なぜおしえないのですか？
	上級生がイヤリングをつけているのを見て、自分もつけていきたいと言っていた。 キャラクターの文房具の禁止などのルールを守っているのに、説明に困った。 服装やアクセサリーは休みの日に楽しんでほしいと思います。

	今回の学校便りを読むとすでに十分配慮されているというか、配慮し過ぎではないでしょうか？外国人の子や何らかの事情がある子を除いて、一律禁止でいいと思います。というか、きっちり禁止にしてほしいです。子供たちは、あの子はずるいとか、あの子の家はいいなとか、その程度のことしか考えません。
	小学生が染髪・パーマ・ピアス・ネイルって、おかしくないですか。世の中おかしいです。
	一部の子が守らなくても問題にならないのであれば、きまりを守っている家庭としては納得できません。親によって考え方が異なることは理解できますが、学校の決まりには協力するべきだと考えます。
	白黒ハッキリして欲しいと思います。最近は、子供の自由というよりも、親の自由をそのまま子供に当てはめている気がします。変な価値観のまま育っていくと思うと将来が心配されてしまいそうです。
	富士見ではスマホは禁止、髪染めはOKでは、矛盾しませんか？子供にとって良くないものは良くないと言っていただいた方か親としては助かります。
	なぜ茶髪を注意しないのか理解できません。そんな自由が子どものためになりますか？中学校では通用しません。
	学校は集団で学ぶ場所ですから、染髪や装飾品についても、学校生活にふさわしいか、学校が判断すべきです。家庭の自由と学校生活のきまりは、分けて考えていただきたい。学校は勉強をする場所ですから、服装についても学習に適したものであることが大切だと思います。個性や自由を尊重することは理解できますが、何を着てもよいということにはならないと思います。学校生活にふさわしい服装について、もう少し具体的に示してほしい。
	時代が変わったとはいえ、小学生には小学生の時期に大切にしてほしいことがあると思います。髪の色や装飾品で自分を目立たせることよりも、学習や友達との関わり、様々な体験を通して自分のよさを見付けてほしいです。大人と同じようなおしゃれを小学生にまで認める必要があるのか、疑問に感じています。発達段階に応じた指導をお願いしたいです。
安全・健康・衛生と服装の適切さ	。清潔感のみが大切だと思います
	衛生管理や怪我の原因となる事項については、厳しく指導をお願いしたいと思います。
	露出の激しい服は、子供が着たいと言っても危険性を親は指導すべきだと思う。
	髪色が明るい子や露出の多い服装の子は事件に巻き込まれる可能性も高くなると思う。何か良い例がもしあれば、それを学校から提示すると、子供を守るために家庭でどうするのがベターか考えるきっかけになると思う。
	基本的な身だしなみ（爪や視力に影響しそうな髪型など）は必須で家庭でも学校でも子どもたちに伝えていくことがだいじだと思います。 先天的に髪の色に違いがある場合もあるのでその点は保護者に確認してから子供に伝えるなど配慮しほしいです。
	小学生から髪を染めるのは、あまりよろしくないと思います。見た目もそうですが、成長過程であるので将来髪が傷んで取り返しのつかない事になってしまう可能性もあるので。 また、身だしなみも小学生のうちから、人前に出る時(学校や外出する時)は、しっかり整えるという事を身につけないと、だらしない子になってしまうと思います。
	学校に配慮して欲しいことは特にありません。安全と衛生面と学校生活に影響しない、これが大前提と考えます。
	動きやすい格好がいいと思います。 ネイルやピアスをしていない子の手や物が引っかかったりして怪我に繋がる可能性があるので禁止でいいです。
	他人が不快に思う格好は保護者としてもさせるべきではない。大人になったらいつでもできますよ。ただ宗教や文化の違いは尊重すべき。
	他の人を不快にさせないというルールを学ぶためにも，ある程度の服装等のルールは必要だと思います。例:露出の多過ぎる服，不潔な頭髪や服など 一方で，幼少期は生まれつき髪色が茶色だったりパーマがかかったような子もいるので，そのような子達の心を傷つけることがないように注意していただきたいです。※私は，中学1年生まで地毛が茶色で，毎度先生方に呼び出されて注意されたことをいまだに覚えています。
	服や髪の色よりも、爪切りや、入浴の必要性について大切さを教えていったら良いと思う。
	頭髪・服装・身だしなみなどは、見た目を整えることではなく、社会生活を送る上での基本的な習慣です。清潔な身だしなみ、生活な髪を整えること、爪を短く切ること、小学生のころから身に付けるべきことではないでしょうか。家庭で指導することが基本ですが、学校でも日常的に指導していただきたいです。
	自由度を広げると、勉強や運動より服装や持ち物に子供の興味や願望が増幅するのは、良くないと思います。

	ネイル(メイク)、ピアス(アクセサリー)の禁止は理解できます。染髪やパーマは学習や学校生活の邪魔にならないようにキチンとしていれば良いと考えます。 それよりも、お腹や太ももがでている服装やロングヘアを結ばないほうが個人的には気になります。
	娘が友達と同じにしたいと言ってますが、たとえば音楽会で見られるときにどんなふうに見られるかと思うと賛成できません。
	小学生のうちから、場面に応じた服装や身だしなみを考える習慣を身に付けてほしいと思います。家で過ごすとき、遊びに行くとき、学校で学ぶときでは、それぞれ適した服装があるはずです。こうしたことを教えるのも教育の一つだと思います。子供の個性を大切にしながらも、社会の中で必要となる基本的なマナーはしっかり指導していただきたいです。
個性・自由・多様性と合理的配慮	癖毛や毛深さを気にする子の矯正や脱毛等については規制しないでほしい
	ダンスの発表会など習い事などの時は一時的にいいのではないかと思う。
	アクセサリー、染髪、ネイルについては安全面（薬剤による身体への影響や、鋭利なものを身に着けることによる怪我、高価なものの紛失）から禁止ということに異論ありません。ただ眉を整えるのが禁止なのは疑問でした。刃物を使う安全面ということは、保護者が家庭で手伝えば良いと思います。過度なルッキズムは抑止する必要がありますが、高学年になると髭が気になる男児もいるでしょうし、身だしなみとして眉や産毛、髭を手入れするのは悪いことではないと思います。
	頭髪、服装、身だしなみは安全や衛生的なこと以外では、学校が何か言う必要があるのか疑問です。
	「みんなと同じであることが正」という印象を与えるような制限や、小学校の時にしかできない自由や自己主張を失うことができるだけないように配慮してほしい。 好きな髪型、服装は基本的には賛成です。 他の子の自由や勉学の邪魔をしない自由なら、自己表現として許容範囲内でることは良いのではないかと個人的には思います。
	例えば、眉毛が繋がってコンプレックスになっている子がいるのであれば、眉毛を剃るのはありだと思う。おしゃれ目的で眉毛を極端に細くしたりしなければいいと思う。 髪の色は、親が子供の意見を聞かずに髪を染めるのはNGだけど、子供が染めたいと言ったのなら夏休みだけとか、期間を設けれはOKかな。 でも我が家は染めさせません。頭皮が痛むし、やはりカラーしてる子供は似合わないから。
	頭髪については近年だと難しいところですよね。 ダンスやってる子は染めてるイメージがありますね。地毛で色づいてる子もいますからね。 それよりも、服装、身だしなみはしっかり指導していくべきだと思います。
	過度なルッキズムにならぬようにすることに賛成です。
	ヘアカラーは本人の自由　服装、身なりも表現は自由　個性は尊重されるべき でも人に危害を与える可能性のある装飾品は避けるべき　ピアスも怪我につながる可能性あり　小学校のうちはやめるべき
	頭髪・服装・身だしなみについて学校が制限を設けるのであれば、何を防ぐために、どの場面で、どの程度の制限が必要なのかを、項目ごとに具体的に説明していただきたいです。「必要な指導」「安全・健康のため」という一般的な説明だけでは、個々の制限の妥当性は判断できません。 染髪・パーマ・ピアス・ネイルは同じ問題ではなく、施術時の危険と、学校で生活する際の危険も分けて検討する必要があります。活動中だけの対応など、より制限の少ない方法では目的を達成できないのかも示してください。 また、「お願い」「推奨」については、応じない選択が認められるのか、応じない子供に繰り返し指導したり、不利益な扱いをしたりしないのかを明確にしてください。外見への違和感や好みだけを制限の根拠にせず、子供本人の考えや個別の事情を尊重してほしいと思います。 私が必要だと考えるのは、具体的な根拠を説明できる最小限の対応です。選択式の回答は、学校が提示した制限を一括して了承する趣旨ではありません。
	家庭の自由でいいと思うが、「髪を染めてないから、ピアスを空けていないから、ネイルをしていないから、化粧をしていないから」いじめたりいじられたりするようなことも起きてくるんだろうとは思う。
	なぜ、学校に服装や髪形についてとやかく言われなければならないのか、理解できません。誰にも迷惑をかけていません。学校の評判が落ちるからでしょうか。そんな評判を気にする必要があるのでしょうか。
	教員の頭髪やネイルにおいて学校側が寛容になっているのであれば児童に対しても個人の意見を尊重せざるおえないのではないかとおもう。保護者の意見としては教員の見た目に何も思わないが、児童に対して学校側が求めるのは筋が違う気がしてしまう。

	ルッキズムと生活のしやすや、清潔感を感じる身だしなみ(他人に不快感を与えずに済む程度)には違いがあるととても感じています。 ピアスやネイルは嗜好品でもあると感じていますが、下記の場合についての判断がとても難しいのでは？と感じましたので一読ください。 例えば、眉剃りは剃り込みを入れる事や眉カラーをするなど必要以上の加工はルッキズムに該当するかと思いますが、眉と眉が繋がるほどの子は剃る必要があると判断しても良いのかと思います。 (剃っても剃らなくても自由だとは思いますが) 髪の加工については個人の意見では頭皮につけずに薬剤塗布が可能な範囲なら成長に悪影響がでるほどの健康被害はないかと感じています。ちなみに小学生に薬剤を用いた施術で1番多く見られるのは縮毛矯正です。プールの授業が始まる前、修学旅行に行く前、髪のクセによりドライヤーをかけてきちんとセットしないととてもじゃないけど、恥ずかしい髪型になってしまう。等の生活に支障が出るレベルの髪の毛のお子さんも多くいます。 そして、稀ではありますが白髪がかなり目立つ子。そのような特徴のある子は白髪染めをする場合もあります。やはりきっかけはお友達にからかわれた、先生の反応がすごく気になるものだった事でした。心の傷を大きくしないためには必要なカラーもあるとその時、知りました。 保護者からの事情を説明するような書面を提出するなとあればOKなどでしょうか？ 色々と難しい時代でもありますよね。 よろしくお願いいたします。
	髪の色や質は、遺伝だったりもあるし自由でもいいかなと思います。ピアスやネイルは怪我や誤飲の恐れがあるので学校じゃない日にしたらいいと思う。
	単にファッション性での人もいれば、中には事情があっての行いという人もいるはず。見た目で判断するのは日本固有の特性でもあると考えており、いい面だけでなく悪い面も多々あると感じている。いい機会なので、世界に目を向け国際理解や差別問題などに繋がる学習として日頃の授業に取り入れ子どもたち自身に考えさせる時間を設けるのはどうか。
家庭の責任・保護者の意識	正直、染色した頭髪のお子さんに対するイメージはあまり良いものでは無い。実際にその子のよろしく無い生活態度に出ています。 他者（大人から）見てあまり気分の良いものではない。他の子へ影響は大きいです。 また、女子の服装も（肌の露出が多い）のも大変気になる。親御さんは子供の登下校中での不審者対策についてどう感じているのか。 高学年になればなるほど、もっと今以上に厳しく学校側で取り締まっていいと思います。 髪色など個性を出すのは長期休暇や土日に限定するなど。
	小学生や中学生は口だけが達者で本当の事は何も知らない未熟者なんだから、学校や親が責任持って欲しい。
	スマホと一緒。親自身が大人と子供の区別を付けていない。大人は酒も煙草も自己責任だが子供は違う。子供に自由にスマホを与えたり自由な恰好をさせて真っ当な人間に育つと思っているのが恐怖。
	親の育て方の問題が大きい。極少数だが余りにも非常識。親への指導が必要。富士見の風紀が乱れないように学校がきちんと指導すべきだと思う。
	価値観の違いではなく、親のモラルの欠如。親が責任を放棄している。悪影響大。親の躾をして欲しい。
	親が自分の子供にどんな格好をさせるかは、親子の自由という考え方もあると思います。しかし、親子が自由に判断できることと、それが子供にとって本当に良いことかどうかは別だと思います。特に染髪や装飾品などは、健康面や学校生活への影響も考える必要があります。親の好みだけで決めるのではなく、子供の成長を第一に考えてほしいと思います。
	入学前から髪を染めている子がいていったいどうして？と思ってしまうのは私だけでしょうか？自由なら自由でもいいのですが私はそんなふうな目で見られたくないので私は嫌です。
	頭髪や服装の乱れは心の乱れ。最近の富士見は外から見ただけですが少し心配です。
	どんなに学校が訴えても、守っている家庭だけが気を遣い、そうでない家庭には何も伝わらないということになると思います。いつもそうです。何も発信しないよりはよいですが。
	富士見では目立つ髪型や服装は極一部だと思いますが、自分の個性や意思ではなく、実は、一部の大人の価値観や商業主義に乗せられているに過ぎません。子どものプチ整形や脱毛と同じで、洗脳というか、大人の金儲けの犠牲ですね。かわいそうです。誰が声を上げないと、スマホやゲーム漬けと同じですね。まんまと大人の金儲けの義務になっています。
	これらは大人の責任が大きいと思います。一重より二重、毛深いよりも脱毛、黒髪よりも茶髪、ぽっちゃりよりも痩身などなど、あおるような「コンプレックスビジネス」が価値観をゆがめています。美容業界がルッキズムなどをあおったり、若年者をビジネスターゲットにしていて、まんまと罠にはまっているだけです。

	子供の服装や頭髪については、まず家庭で責任をもって指導するべきだと思います。学校にすべてを任せるのではなく、保護者自身が何が適切なのかを考える必要があります。最近は、子供が希望すれば何でも認めてしまう家庭もあるように感じます。子供の自由を尊重することと、親として必要な判断をすることは別だと思います。
	小学生の染髪やピアスなどについては、子供本人よりも保護者の考え方が大きく影響しているのではないでしょうか。まだ判断力が十分でない子供に対して、大人が安易に認めてしまうことには疑問があります。自分の家庭だけの問題と考えず、学校で一緒に生活するほかの子供たちへの影響についても、保護者が考える必要があると思います。
	学校に配慮を求めることには、少し違和感があります。学校は集団生活なので家庭と同じではありません。学校が指導すると、それを窮屈だと受け止める保護者もいるかもしれませんが、まずは家庭が集団生活の意味を子供に教えることではないかと思います。
	子供が嫌がるから注意しない親、子供が望むから認める親、が増えているように感じます。しかし親の役割は、理由を説明して我慢させたり、やめさせたりすることではないでしょうか。学校だけに厳しい指導を求めるのではなく、家庭でも同じ姿勢で子供に向き合うべきだと思います。
	学校が服装や頭髪について指導すると、家庭の自由に口を出さないでほしいという意見が出ることもあると思います。しかし、学校には集団生活を安全に運営する責任があります。保護者が自分の家庭の考え方だけを優先してしまうと、学校は指導しにくくなるのではないでしょうか。保護者も学校の立場を理解し、協力する姿勢が必要だと思います。
	今回のアンケートをきっかけに、学校だけでなく家庭も自分たちの子育てを振り返る必要があると思います。子供の自由や権利を大切にすることは当然ですが、社会の中で守るべきことを教えるのも大人の責任です。学校にきまりをつくってもらうだけでなく、家庭で何を教えるべきなのかを、保護者全体で考える機会にしてほしいです。
	髪染やピアス云々以前に、親が責任を果たしているかを考える必要があると思います。子供が学校にふさわしくない服装をしている場合、まず家庭で話し合うべきではないでしょうか。学校から注意されて初めて対応するのではなく、日頃から親が子供の様子を見て判断することが大切だと思います。
学校の説明・公平な指導と連携	髪を染めている子を羨ましがり、学校で禁止されていないからしたい。ダンスしてればいいの？など、学習しに行っているのに目立つオシャレに目がいってしまい、学業よりそちらに気を取られ、本人もよくないと理解しつつ羨ましい。と。なので今回のように学校の方針押して示していただけると、親も伝えやすいです。
	子どもの権利を盾に、染髪や華美な服装の自由を主張する保護者・又は染髪や服装の事で他所のお子さんに対する苦情を学校に入れる保護者がいるということでしょうか。 先生方が本来しなくて良い心配りをされているのなら、申し訳なく思います。 学校に配慮してほしいことはありません。 いつもありがとうございます。
	お友達が髪の毛を染めていると影響を受けてしまう。 学校から健康や安全性を伝えて欲しい。
	大変かと思いますが、一つ一つのきまりがどうして必要となったのか、背景も踏まえて子供達や、保護者に伝わるような発信をしていただけると、ありがたいです。
	茶髪やネイルなどが広がると、見た目を比較したり、おしゃれをしている子が目立ったり、ルッキズムが増長するようになるのが心配です。家庭の経済状況や保護者の考え方によって、変な競争が生まれることも心配です。 学校は、見た目ではなく、一人一人の良さや内心を大切にする場所であってほしいと思います。
	学年、クラスによる指導の差を無くすこと
	一部児童の服装がきわどく心配だったが、教員側で指摘するのは難しいと感じたていたため、改めて問題提起するのは保護者と連携するためにとても良いと思う。
	生活のきまりを作っても、注意される子と注意されない子がいるような状況は避けてほしいです。先生によって言い方が違ったり、特定の親から強く言われると指導が変わったりするようでは、子どもも納得できないです。きまりは、誰に対しても公平に指導していただきたいです。もちろん外国人の子など、配慮や例外も必要です。
	全て学校にお任せします。という親が少なくなったのでしょうか。私は全て学校にお任せします。

個別の学校生活・制度の提案・その他	学校だよりの内容は概ね同意します。 記載がなかった内容で、配慮をお願いしたいことがあります。冬場の体育の時の服装についてです。 冬場は体育の授業が始まるまで防寒着の着用が認められていますが、授業中も含めて長袖長ズボンのジャージ着用を認めて頂きたいのです。 今年卒業した娘は、冬場の体育の授業で身体を冷やしてしまい、生理の時は頻繁に体調を崩していました。使い捨てカイロの使用も認められていないので、生理中はとても辛い思いをしています。健康に関わる上にデリケートな話ので、一律に制限をかけるのではなく、防寒に対しては自己判断で調整できるようにすれば良いと思います。（特に高学年）
	フード付きアウターや冬用の帽子に関して、防犯上から制限がありますが、防寒対策に適した物もありますので、見直し検討していただけたらと思います。
	地方の学校のように小学校も制服にしたらいいと思います。制服にすると、身だしなみも自然としっかりしますし、髪染やピアスなんて到底考えないはずです。
	以前の学校（他県）では、小学校も制服でした。とても楽でした。都内も私立の学校は制服が当たり前だし、そこにステータスを感じていると思います。富士見も制服になったらかっこいいですね。実は、親としてはとっても楽です。結局、安上がりですし。
	時代が変わったとはいえ、小学生には小学生だからこその時期に大切にしてほしいことがあると思います。小学生らしくは、小学生の時にしか味わえないのです。二度とない小学校生活を小学生らしく過ごしてほしいと思います。 髪の色や装飾品で自分を目立たせることよりも、学習や友達との関わり、たくさんの体験を通して、自分のよさを見付けてほしいと思います。 大人と同じようなおしゃれを小学生にまで認める必要があるのか、疑問に感じています。 小学生には小学生らしい指導をお願いしたいです。
	私の関わる児童に関しては、特に気にはならなかった。
	学校でも家庭でも、幼稚園時代、小学校時代、中学校時代、高校時代、それぞれ一瞬で過ぎ去り二度と戻りません。背伸びせず、その時その時を、楽しんで欲しいと思います。小学生らしさを楽しめるのは、小学校にいる時だけです。小学生が大人の真似をする必要はありません。

Ｑ９　子供たちの自由や権利を大切にしながら、よりよい学校生活をつくるために、ご意見やご提案があればお聞かせください。

論点	保護者の回答原文（無修正）
自由・権利と責任・協調性の教育	自由や権利も大事だとは思いますが、学校生活は決まりを守り、協調性を学ぶ場だと考えます。 他の子がしないことを親が許して髪を染める、ピアスを開けるなど大人がすることをしてしまうと本人が勘違いして自分を大人と同じことができると過大評価します。 保護者の方でもそこまでお考えにならない方も増えているようにお見受けいたしますので、学校の方から禁止していただけるといいなと思ってました。よろしくお願いします。
	子どもたちの自由というのは学校で過ごす上では、ルールや規則に基づいた上で選ぶことができるものを言うと思う。 それを選ぶことによるリスクや影響については子供達は分からないため。 学校に行く以上、最低限の決め事は必要なことだと思いますし、大人がそれを導かならないなと改めて確認しました。
	子供たちの自由や権利を大切にすることは、いい事だと思います。 しかし、自由過ぎるのもどうかと思うので、ある程度ルールは必要だと思います。
	清潔で安全に過ごせれば、他は自由でもいいかと思いますが、子供に任せるのは小学生には難しいので家庭（親）の方針になると感じる。結果的に、親が決定権をもつのであれば、子供の自由や権利を大切にしているかどうか、怪しい部分もある。いろんな家庭環境の子供が集まっているはずなので、ルールがある方が心理的にも安全になることもあると考えます。
	ちゃんと子供達に諭して自由と責任、権利と義務を正しく指導してください。
	頭ごなしに叱るのは駄目だけど子供には大人の変な所を変に真似して変になってほしく無い
	子供達を無意味に縛り付けるのは言語道断だが、自由の名の下やりたい放題に放置するのはもっと駄目でしょ。大人が教えるべきは、自分の権利云々より他人の権利でしょ。
	子どもに自由や権利を教えるのであれば，自由や権利には責任が伴うこと，他の人を傷つける権利まではないこと，責任(最低限やらなければならないこと)をしたうえで行使できるものであることもしっかり伝えて頂きたいです。 ※最近の子どもは，「自分がやりたくないからやらない」と言って，努力や勤勉さ，他の人への思いやりを示すことから逃げているようにみえます。
	自由や権利ばかり与えても子供達のためにはならないと思う。決まりを守って協調性のある生活を送ることも経験させなければ大人になった時に大変なことになりそうだなと思うので特別な理由を除いては禁止でいいです。 大人になって自分で稼げるようになったら自由にしたらいいだけです。
	子どもの権利を大切にすることには賛成です。が、子どもには、自分の権利だけでなく、周囲の人にも同じように権利があることを理解してほしい。 必要なきまりを設け、守るように指導することは、子どもの権利を否定することではない。
	学校は勉強よりも集団生活の中で社会のルールを学ぶ場所だと思います。自分の希望どおりにならなくても、みんなで決めたことを守ることが大切です。最近は個性が強調される一方で、我慢することや周囲のことを考えることが軽く考えられているように感じます。必要なきまりは、しっかり守らせてほしいです。
	自由には必ず責任が伴うことも教えてほしいと思います。 自分が好きなことをする自由がある一方で、その行動によって周囲の人が困ったり、迷惑を受けたりすることもあります。 自分の権利だけを主張するのではなく、ほかの人の権利も同じように尊重することを、学校生活の中できちんと学ばせてほしいです。
	自分の考えをはっきり伝えることは大切ですが、それと同じくらい、それ以上に、他の人の意見を聞き、協調する力が大切だと思います。 最近は自己主張を尊重することが強調される（良しとされる）一方で、周囲に合わせることが否定的に捉えられる（自己主張ができないことは意思が弱いことのような）風潮が強くなってきたように感じます。 学校では、自分らしさを大切にしながら、時には我慢することも必要だと教えて、集団の一員として行動する力を育てるのが学校ではないでしょうか。

学校は、子供が社会の一員としての自覚を身に付ける大切な場所だと思います。自分の自由を大切にするだけでなく、ほかの人の自由も守ること、共通のきまりを守ること、必要なときには自分の希望を抑えることなどを学んでほしいです。こうした力は、大人になってから急に身に付くものではありません。小学生のうちから丁寧に指導していただきたいです。
自分のわがまま、みんなの迷惑。
自由や権利の大切さを教えながらみんながよりよい学校生活をつくるために必要な決まりの大切さをしっかり教えていただきたい。
「自分にとっての当たり前は、誰にとっても同じではない」ということをわからない大人が多くなってきたのではないか。「自分の当たり前が全員の当たり前」と思っているから、自由の名のもとに自分の主張だけを通そうとする。そういうことをみんなで考える必要がある。
まだ小学生だからと自由で良いという考え方には賛成できません。中学校でも社会でもたくさんのルールがあります。子供のころから、なぜきまりが必要なのか理解することが大切だと思います。今だけでなく、将来の成長を見据えた指導をお願いします。
個人の自由や権利は、全体の自由と権利が守られているからこそ成立するものではないでしょうか？
個人の権利より全体の権利を大切にして欲しい。
子供の権利について学ぶ機会が増えていることはよいと思います。しかし、権利を主張することだけでなく、集団の中で果たすべき責任についても、同じように教える必要があると思います。自分の希望が通らないときに、すぐに不満を言うのではなく、なぜそのきまりがあるのかを考え、納得して行動する力を育ててほしいです。
学校は、子供が社会の一員としての自覚を身に付ける大切な場所だと思います。自分の自由を大切にするだけでなく、ほかの人の自由も守ること、共通のきまりを守ること、必要なときには自分の希望を抑えることなどを学んでほしいです。こうした力は、大人になってから急に身に付くものではありません。小学生のうちから丁寧に指導していただきたいです。
小学生のうちは自由にさせておけばよいという考え方には賛成できません。中学校や社会に出れば、守らなければならないルールがたくさんあります。小学生の段階から、なぜきまりが必要なのかを理解し、守る習慣を身に付けることが大切だと思います。子供の今の気持ちだけでなく、将来の成長を見据えた指導をお願いしたいです。
自分の考えをはっきり伝えることは大切ですが、それと同じくらい、ほかの人の意見を聞き、協調する力も必要だと思います。最近は自己主張を尊重することが強調される一方で、周囲に合わせることが否定的に捉えられる場合もあるように感じます。学校では、自分らしさを大切にしながら、集団の一員として行動する力を育ててほしいです。
子供たちには、自由とは何をしてもよいことではないと教えてほしいです。自分の行動を自分で決めることには、その結果についても自分で責任をもつことも含まれると思います。学校生活の様々な場面で、自由と責任の関係を考えさせる指導をお願いしたいです。
学校は一人だけの場所ではありません。すべての子供が安心して学べることを第一に考えてほしいです。自由を尊重することと、みんなが守るべききまりを設けることは、決して矛盾しないと思います。
小学生は、まだ自由や権利について考えている未成熟な段階だと思いますので、自由や権利を前面に出すのではなく、考えさせること自体が大切だと思います。
別に、子供の自由や権利を大切にする必要はないと思います。まだまだそれらを学ぶ途中ですから。
内面の自由や権利を学校生活で尊重することは大事だと思いますが、外見については学校外で各家庭毎に判断するべきだと思います
自分自身が、頭髪服装について自由な高校に通っていました。髪色も自由、ピアスも制限されず、私服の学校です。自分を律することができる人が集まっていたため自由が認められているのだと考えます。学校生活に影響が無い、友達がやっているからといって考え無しに真似をしない、ヘアカラーやピアスにあるリスクを考える、これらを自分で考えられる小学生はほとんどいないでしょう。「安全、衛生面、学校生活に支障が無い」という内容を判断できるまで、大人が指針を示す必要があると考えます。

学校の方針・きまりの明確化と公平な指導	学校側は様々なルールに対して「推奨やお願い」、「遠慮してください」ではなく、「禁止」と強くはっきり伝えていいと思います。 「遠慮」という言葉を履き違えてる保護者が多いです。 あいまいな表現によって判断を委ねてしまった結果、少数の保護者のルールを無視した言動によって、大変不快に感じている方は多くいます。 あいまいなルールによって先生方も個々の判断に迷いますし、禁止事項にしたほうが教師間で指導の統一もできます。 多様な価値観、様々な生活環境（家庭環境）がある富士見エリア、そして公立校だからこそ、学校側で一般常識の範囲で管理監督を行って良いとおもいます。 昔から言われている「荒れている学校」は、先生型、学校側に問題があるよりも、保護者側のモラルだと感じます。
	一部のきまりを守らない子が指導されない状況が続くと、ほかの子たちも守る必要がないと考えるようになるのではないでしょうか。きまりを守っている子が損をするような学校にはなってほしくありません。個々の事情に配慮することは必要ですが、学校として守るべきことは厳格に指導するべき。
	子供の権利を尊重することは大切ですが、子供にはまだ判断が難しいことも多くあります。だからこそ、学校や家庭が一定のきまりを示し、必要な指導を行うことが大切だと思います。何でもかんでも子供自身に決めさせるのではなく、成長に応じて少しずつ判断する力を育てていくことが今は必要ではないでしょうか。
	きまりが少ないことは、一見すると良いように思えますが、何がよくて何がいけないのかが分からなければ、子供たちはかえって困ると思います。家庭によって判断が違うので、学校生活については学校としての良い悪いの基準が必要だと思います。曖昧な言い方をしないで、必要なきまりを毅然と整理して示してほしいと思います。小学生に茶髪なんてありえないと私は思います。
	学校から「できるだけ控えてください」「望ましくありません」という表現では、これでは守る必要があるのかどうか分かりません。守る家庭と守らない家庭が出てくる原因になっているのではないでしょうか。禁止する必要があるものは明確に禁止し、家庭の判断に任せるものとは区別して示していただきたいです。
	子どもたちは、まだ自分で物事を判断する力が十分に備わっているわけではありません。だからこそ、自由や権利をどこまで認めるのか、その基準を各家庭や保護者の考え方に委ねるのではなく、学校として明確に定め、すべての子どもたちに平等に適用することが大切だと思います。 自由や権利を尊重することはもちろん大切ですが、それは決められたルールを守ることが前提にあるべきだと思います。まずはルールをきちんと守ることを教え、その上で子どもたち一人ひとりの個性や自由、権利を大切にできる学校生活にしてほしいです。
	学習に必要ない物は持ち込まないと同等で、学習に必要のない装飾は行わない
	今回のアンケートをきっかけに、学校としての服装や頭髪に関する方針をしっかり整理してほしいものです。先生によって指導が違ったり、家庭によって対応が変わったりすると、子どもも親も混乱します。
	最近は、多様な意見に配慮するあまり、学校が明確な判断を避けているように感じることが多いです。すべての親が納得するまで何も決められないのであれば、学校としての指導がますます難しくなると思います。子供たちや親の意見をある程度聞いた上で、学校が必要だと判断したことについては、堂々と、明確に、方針を示してほしい。
	富士見では数年前に学校便りで、校長先生の方針だと思いますがスマホは百害あって一利なしとあってビックリしましたが、新入生保護者会でも公言されていました。学校の決まりではなく家庭のことに堂々と公言されていたのは驚きでしたが、私もまったく同感ですし、おかげて自分の息子たちに校長先生も言ってるでしょと、スマホを与えないでいられます。なのに今回は髪染めのことなど、学校の決まりで禁止とすればいいものを、なぜ意見を求めるのでしょうか？弱気になられたのかなと思ってしまします。寄り寄り学校生活をつくるために、これまで通り毅然とした方針をつア抜いてほしいと思います。親や子供に迎合する必要はありません。
	いろいろ意見を聞くことは悪いことではないと思いますが、私の感覚では「染髪・パーマ・ピアス・ネイルなどについて、学校はどのように対応することが望ましいと思いますか。」なんて聞く必要があるのでしょうか。それって「子供たちの自由や権利」に入るんでしょうか。ぎもんです。
	学校便りなあるように子どもの最善で考えていただければ学校の方針に従います。

	子供の権利を大切にすることと、必要な指導をすることは矛盾しないと思います。むしろ、子供の将来を考えれば、よくないことはよくないと伝えることが大人の責任ではないでしょうか。最近は、注意すること自体が難しくなっているように感じますが、学校には必要な指導をためらわず、子供たちに社会のルールを教えていただきたいです。
	学校には様々な家庭環境や価値観をもつ子供たちが集まっています。だからこそ、学校全体の秩序を守るためにも、必要な指導はしっかり行っていただきたいです。
	服装や頭髪の問題が大きくなってから対応するのではなく、今のうちに学校としての考え方を整理してほしいと思います。小さな問題だからと見過ごしていると、後から指導することが難しくなるのではないでしょうか。子供の自由を大切にしながらも、学校生活に必要なきまりを明確にし、早い段階から丁寧に指導していただきたいです。
個性・自由の尊重と制限への慎重さ	ルールで縛り子供の個性を潰す必要は無いと思います。軍隊みたく規則に縛り付けて個性を潰すのはやめてもらいたいです。子供は学校の囚人ではないです
	多様性と言われる時代ですが、小学生の多様性には、ジェンダーのみで良いのではないかと思います。
	海外の学生が学校での衣服・装飾にあまり制限がないというインタビューで、「学校は勉強しに来るところでしょ？」という日本でもよく言われるフレーズが、「つまり誰がどんな格好をしていようが、私が勉強をすることに影響はない。なぜ制限する必要があるの？」という全く逆の意味で使われていて目から鱗だったことがあります。日本国内の小学校で完全自由な格好を許可してほしいとは秩序・防犯面からも全く思いませんが、ただ禁止と言うより本質を自分達で考えさせることが大事だなと思わされました。子供達には決まりを提示するだけでなく、選択には責任が生じるということや安全面のことを説いて、理解させる機会を設けていただきたいです。
	何故ダメなのかを子どもが納得するまで説明すべき　制限は全てを禁止するのではなくどうしても、の一部にすべき
	今回の形式のままアンケートを続け、その集計結果をきまりの是非の判断に用いることには反対です。いったん実施を止め、目的と設問を見直していただきたいです。 意見を聴くこと自体は大切ですが、現在の設問では、何をどこまで制限するのか、その根拠に納得できるのかを十分に答えられません。Q4は性質や危険性の異なる染髪・パーマ・ピアス・ネイルを一括しており、項目ごとに考えが異なる回答を表せません。そのため「どちらともいえない」を選びました。Q5には判断を保留する選択肢がなく、分類への賛否と、その運用への懸念も区別して回答できません。 このままでは、回答者が何に、どのような条件で賛否を示したのか分からず、集計値だけが独り歩きするおそれがあります。まず各制限の目的・根拠・代替方法を示し、項目別に賛否と理由を答えられる設問にしてください。「判断材料が足りない」「条件付きで賛成」「該当する選択肢がない」という回答も必要です。 子供の意見についても、聴くだけでなく、異論や少数意見をどう検討し、最終判断にどう反映したかを説明してほしいです。賛成の多さだけで制限を正当化せず、個々の制限の必要性を学校が説明する手続に改めていただきたいです。
	服などは、時代に合わせた自由をもたせつつ、子供としての健康面は昔から変わらないという考えを伝えていただけたら。
	子供は伸び伸びと、自由に育てたい。大人になっても、自由に生きてほし。
	児童が華美な服装、ピアス、染髪などを行うことを認めることは、個人の自由の尊重とは言い切れないと考えています。児童自身が自分の意思によるものだと考えていたとしても、その発想自体がルッキズムや保護者の意向、環境等によるものであることが予想されるからです。本来であれば、安全面を考慮するだけでなく、ありのままの自分でのびのびと成長していくことが望ましいのでは、と思います。
	例えばですが、コロナ禍の時のように子供にマスクを強要する、ワクチンを推奨する等の過剰な押し付けは様々な意見を踏まえて考えてほしい。
	同調圧力を感じずに、本当にこども1人ひとりが意見を交える環境を作れるのであれば、ぜひやっていただきたいと思います。
	話し合うことは大事だけど、それが難しい子も中にはいるので、その辺りも配慮もできるといいのでは思いました。難しいと思いますが。
	自由の履き違えのないよう、見守り、助言したいと思います。 子どもたちはもちろん、私たち保護者も未熟な部分があると思います。 先生方にお力添えいただけるとありがたいです。耳が痛いご指摘でも、素直に聞き入れる親子でありたいと思います。

家庭の責任・学校との協働	まず親がちゃんと子供を見守ることが何より大切だと思います。お仕事が忙しくて目が届かないかもしれないけど、よく話し合って欲しい。何をして今日過ごしてたのか、そのお菓子は誰からもらったのか、とか。親も貰えてラッキーだったね、くらいにしか思ってないのであれば大問題です。とは言えいろいろ聞かれても子供は隠すかもしれませんが。
	子供の意思を尊重しながら、必要な指導や制限も行うべきだと思う。学校が基本的な方針を示し、家庭・地域と共有する。今回のようにお知らせいただくことで、家庭で話し合うきっかけになります。
	個人的な権利を主張する前に、自由ばかりを主張する親御さんに、風紀の乱れの責任をとっていただきたい。
	子供が意見を出すことはよいこと。だけど子供が望んでいるからといってルールをなくしたりすることには違和感を感じます。子供たちは未熟です。自分や他人への影響や、危険性、、将来への影響も分かりるはずありません。なので、子供の意見を聞きながらも、大人が責任をもって判断することだと思います。
	子どもにきまりを言うのであれば、まず大人が社会のルールやマナーを大切にする姿勢を見せる必要があると思います。 むしろ大人の方が自分の権利ばかりを主張し、周囲への配慮を忘れているように感じる場面が多いと思います。 子は大人の姿をよく見ています。 学校と家庭が協力して、責任ある行動の大切さを教えていくべきだと思います。
	自由と周りに迷惑がかかるわがままとを混ぜて考えている親はいると思う。 自由を主張する場合に、学校側にどのような管理をもとめるのか、どこまでが親側の管理下なのかを明記にしないとどこまでも学校側に求め出す親は出てるかと思う。
	まずは親の躾をして欲しい。
	服装や身だしなみについて、どこまでが家庭の責任で、どこからが学校の指導なのかを整理していただきたいです。家庭で判断すべきことまで学校に任せるのは違うと思いますが、学校生活に関わることについては共通の基準が必要です。保護者に協力を求める内容と、学校が指導する内容を明確に示していただきたいと思います。
理由の説明・子供の理解と参画	学校の意見は聞かされるけど、保護者の意見を聞かれたことがないので意見を言える意見箱のようなものがあればいいなと思う。
	基本的に、安全と健康が守られれば良いと思っています。禁止する場合、何故禁止なのか子供達が 納得出来る理由を提示し、説明することは大切だと思います。
	体育がある日にタイツを着用していると、怪我をした時に怪我を確認しにくく危ない等、何が子供の安全のために必要なのかを親に具体的に伝えていくことが大切だと感じます。 知らない保護者は、協力したくても気付けないのはもったいないかなぁと思いました。
	決まりだからという理由では、納得しにくいです。具体的な理由を示していただければ、親としても従います。
	子どもたちが理解できるような説明が大事かと。
具体的な生活・制度の提案・その他	ユニクロ制服のような、安く買い揃えられる、標準の服装を指定しても良いと思う。
	基本的な身だしなみ（爪、髪、服などの）管理乱れてないか、爪は長くなっていないかを子供同士で毎日？定期的にチェックする習慣などはどうでしょうか？
	小学校で制服着用の学校がありますが、服装自由の方が暑い時や寒い時等、日に合わせたり季節に合わせた装いが出来るので、個人的には現状に賛成です。ただ、頭髪に関しては、ご家庭の考えもあるでしょうが、幼い頃からの染毛はあまり好感持てません。進学先の学校が、染毛禁止の場合、切り替えができるか？禁止のストレスの矛先が良くない状況を引き起こす場合も考えられるのではないでしょうか？小学生のうちは問題ないと子供に染毛させている親と話した事もあります。「今しかできないから」と話しておりましたが、小学校は集団生活なので目立ちましたし、子供達の間では賛否両論で「特別な子」でした。いろいろな考えがあると思いますが、個人的には小学生らしい服装、頭髪が望ましいと思っています。
	以前の学校では、小学生も制服でした。とても楽でした。
	大人のビジネスの罠に、はまらないよう指導願います。
	子供たちや各ご家庭でどう考えているのかに興味があります。このアンケートの結果が知りたいです。

	最近は何でも言ったもの勝ち、やったもの勝ち、先に行った方が正義、言われた方が悪、SNNの悪影響ですね。炎上させた方が正義で、炎上させられた方が悪。これを自由や権利と言っていいのでしょうか。富士見は、そういった輩を気にしない学校であって欲しい。そうしなければ、より良い学校はあり得ない。